



五福っ子



令和6年5月1日発行 No.2

優しさ いっぱい 五福っこ

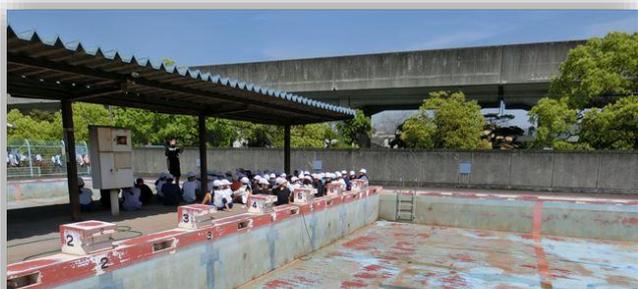
4月30日。3連休明けの火曜日の朝、ニュースが飛び込んできました。地域の方からのお電話でした。

その方は、26日金曜日の朝、倒れている女性に「大丈夫ですか、大丈夫ですか。」と声を掛け、助け起こしている小学生の女の子に出会ったそうです。その行動に感心して、ぜひほめてあげてください、と学校へご連絡をくださったのです。

その子から詳しく話を聞くと、女性が手押し車を押して歩いていたところ、車が脱輪したのか急に壊れたため、転んだのだそうです。そして思わず駆け寄った…とのこと。この、『思わず』という素直な優しさが素晴らしいと、私は嬉しくなりました。

もう一つ嬉しいのは、地域の方の優しさです。地域の子どもを温かく見守ってくださると同時に、それをわざわざ学校に知らせ、広めてくださっているということです。地域の温かさを感じた出来事でもありました。

4・25 ありがとう プール清掃



例年より少し早いのですが、プールの改修工事に備え、5・6年生がプール清掃を行いました。

「うわあ!」「きったねえ!」と、ドロドロ汚れの広がったプールを見て声を上げていた子どもたちですが、いざ掃除が始まると、躊躇なくプールに入り、デッキブラシでこすり始めました。プールサイドには苔が生えているところもあり、ピンポイントで重点的にこすっていました。更衣室も、トイレも、階段も、脱いだ履物を入れる靴箱も、どこも真っ黒に汚れが積もっていましたが、子どもたちはてきぱきと手を動かし、どんどんきれいになっていきました。

掃除の最中、「次は洗剤をまいてこすります。」と手順を考えたり、「先生、ここは水を流してもいいですか。」と確認したりして、『きれいにする』という目標に向かって主体的に活動している姿が印象的でした。さすが高学年!頼もしさを感じたプール清掃でした。

早くきれいなプールで、水泳や水遊びを思いっきりしたいですね。

